

佐世保市立日野中学校 学校評価（後期）

項目	No	内 容	29年度 前期			29年度 後期			考 察
			生 徒	保 護 者	教 師	生 徒	保 護 者	教 師	
1 教育活動	1	学校教育目標「心豊かで活力に満ちた生徒の育成」に向けた教育がよくなされている	3.3	3.0	3.3	3.3	3.1	3.3	△No.2…教師評価(-0.3) ⇒校務が多忙になった？ △No.3…保護者評価(+0.2)、教師評価(-0.2) ⇒学校・学級からの情報発信が十分でなかった。 △No.4…生徒評価(-0.2) ⇒授業の見直しや工夫の継続が必要。 ○No.5…教師評価(+0.2)
	2	学校の教育方針には共感でき、特色ある教育活動に満足している	3.2	3.0	3.4	3.1	3.1	3.1	
	3	学校の様子を学校便りや学級便りなどでよく知ることができる	3.4	3.1	3.0	3.4	3.3	2.8	
	4	学校は、子どもをよく理解し、わかる授業を進めている	3.4	2.8	3.1	3.2	2.8	3.2	
	5	学校は、保護者の悩みや相談に親身に対応してくれている	3.1	3.0	3.1	3.1	3.0	3.3	
	6	学校では、人権教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育がなされている	3.3	3.0	3.0	3.3	3.1	3.1	
2 教育環境	7	学校は清掃が行き届き、いつもきれいだである	3.0	3.3	2.9	3.0	3.3	2.7	△No.7…教師評価(-0.2) ⇒清掃指導が十分とは言えない。
	8	学校は、安全に気を配り教育環境が整っている	3.3	3.3	3.3	3.3	3.5	3.2	
3 開かれた学校	9	PTA活動は計画的で、保護者はPTAに関心が高く協力的である	3.0	2.9	2.9	2.8	2.9	2.9	△No.9…生徒評価(-0.2) ⇒お家の人も忙しくて… ○No.10…保護者評価(+0.2) △No.11、No.12…教師評価(-0.2) ⇒情報発信が十分ではなかった。
	10	学校は、地域や関係団体・機関との連携をとっている	3.2	3.1	3.0	3.2	3.3	3.0	
	11	学校は、家庭への連絡などを積極的にきめ細かく行っている	3.3	2.9	3.3	3.2	3.0	3.1	
	12	学校は、進路について、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている	3.3	3.0	3.1	3.3	3.0	2.9	
	13	教師は、地域の行事をよく理解し、協力的である	3.0	3.0	3.0	3.1	3.0	2.9	
4 生徒活動	14	子どもは、あいさつがよくできている	3.2	3.0	2.9	3.2	3.1	2.8	△No.17…教師評価(平均以下) ⇒授業と関連づけた課題提供の工夫が必要。 ⇒部活動時間の見直し(学習時間の保障) (週に1日の休養日設定、短時間に集中した活動)
	15	子どもは、好ましい友達関係があり、楽しく登校している	3.4	3.3	3.0	3.5	3.3	3.1	
	16	子どもは、学校で意欲的に学習に取り組んでいる	3.2	3.0	2.8	3.3	3.0	2.9	
	17	子どもは、家庭学習にすすんで取り組んでいる	3.0	2.7	2.4	3.1	2.8	2.3	
	18	子どもは、社会のルールや学校のルールを守っている	3.4	3.2	3.0	3.5	3.3	3.0	
	19	放課後の部活動は、意欲を持って活発に行われている	3.3	3.3	3.5	3.4	3.3	3.4	
5 家庭教育	20	家庭では、子どもの基本的な生活習慣(あいさつ、言葉づかい、時間、身なり、整理整頓など)が身に付くように努力している	3.3	3.2	3.0	3.3	3.2	2.9	○No.21…生徒評価(+0.2) ⇒受験期を控えて感心が高まった。 ○No.22…教師評価(+0.2) ●No.23…三者評価(平均以下) ⇒PTA活動の工夫もあり、少しずつ改善傾向にあるが、なかなか参加できていないとの自己評価がみられる。 ●No.24…三者評価(平均以下) ⇒地区生徒会の立ち上げも視野に入れる必要あり。
	21	家庭では、子どもの将来の夢や希望について話し合っている	2.8	3.1	2.8	3.0	3.2	2.8	
	22	家庭では、学校からの連絡文書を読み、提出物など提出している	3.4	3.3	2.9	3.5	3.3	3.1	
	23	PTA活動に積極的に参加している	2.2	2.6	2.8	2.3	2.6	2.7	
6 その他	24	子どもは地域の行事に進んで参加している	2.4	2.4	2.5	2.4	2.4	2.5	

<総括>
 ※評価数値2.8を基準点と考えると、3.0以上はおおむね満足できると考えられる。考察の()は前期より±0.2以上の変動があったものや評価平均3.0以下を示している。

平成29年度後期における学校評価は、前期と比較すると、保護者平均に若干改善傾向がみられた。「1 教育活動」から「3 開かれた学校」においては、満足度を達成できているものが多いが、「家庭学習」、「キャリア教育」については十分とは言えず、「PTA活動への参加」、「地域行事への参加連携」については課題が残った。

【対応策】

- ・全体的な授業改善への取組みがまだ十分ではなく、校内研修の継続が必要である。今年度から始まった、学力向上を目指した国語・数学・英語の3教科についての全学年一斉の「放課後学習会」については、その成果の検証を含めて今後も継続が必要である。保護者評価については改善方向にあるが、教師評価の低下がみられた。教師自身のモチベーション向上への取組も今後必要である。
- ・家庭学習の改善については、授業内容と関連した課題(宿題)の提示はもちろん、生徒の家庭生活における計画的な過ごし方についても指導が必要である。
- ・PTA活動については、PTA役員会や実行委員会のみなさんが組織改善や親子で参加できるPTA活動の工夫、改善を推進している。教師も部活動指導や諸事情もあるが、可能な限りPTA活動に参加しようと協力的である。
- ・地域との連携については、自治会との情報共有や地区生徒会の立ち上げなどにより、地域の生徒が地域の行事に参加協力できる取組が今後も必要である。